

平成 17 年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会

総会並びに研究発表会実行委員会

平成 17 年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会を、下記の要領で開催いたしますのでお知らせします。

申し込み手続き等につきましては「砂防学会誌」57 巻 5 号（平成 17 年 1 月 15 日発行予定）に掲載の予定です。多数のご参加と研究発表をお願い致します。

なお、「砂防学会研究発表会」は、技術士 CPD（継続教育）履修実績として申請することができます（本件のお問い合わせ先：学会事務局 TEL 03 3222 0747）。

I . 平成 17 年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会実施要領

1. 期 日 平成 17 年 5 月 25 日(水)～27 日(金)
2. 場 所 愛知厚生年金会館「ウェルシティなごや」
(〒464 8543 名古屋市千種区池下町 2 63 Tel 052 761 4181)
3. 日 程 (下記日程表のとおり)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:30	15:30	16:00	17:00	18:00	19:30
5月25日(水)		受付	総会	特別講演	昼食	テーマ別セッション	ポスターセッション コアタイム	研究発表会		休憩	意見交換会
						ポスターセッション 展示・説明	留学生 講演会				
5月26日(木)		研究発表会		昼食	ポスターセッション コアタイム	研究発表会					
				ポスターセッション 展示・説明							
5月27日(金)	現地見学会										

4. 見学会

現在計画中で、詳細は「砂防学会誌」57 巻 5 号でご案内致します。

5. 参加費（予定）

研究発表会

一般会員 7,000 円（非会員 9,000 円）

学生会員 4,000 円（非会員 5,000 円）

懇親会費 5,000 円

見学会費 5,000 円（昼食代含む）

注：参加費は全額前納とし、返却は致しません。

6. 参加申込みおよび宿泊申込み

平成 17 年 1 月 15 日発行予定の「砂防学会誌」57 巻 5 号でご案内致します。

7. 会場までの交通機関

「砂防学会誌」57 巻 5 号でご案内致します。

8. お問い合わせ先

〒460 8501 名古屋市中区三の丸 3 1 2

愛知県建設部砂防課

Tel : 052 954 6559 Fax : 052 972 6418

II . 平成 17 年度(社)砂防学会研究発表会要領

1. 発表者の資格

砂防学会員に限ります（ただし、グループでの発表の場合は、代表者が会員であること）。

2. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり等の土砂災害・火山災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林の影響、砂防と環境、砂防の社会的評価に関するも

ので、原則として学会等に未発表のものに限ります。

3. テーマ別セッションについて

平成 17 年度研究発表会においても、一般口頭発表並びにポスターセッションの他に、以下の 3 課題のテーマ別セッションを設定致します。このうち「企画テーマ」に関しては、昨年度に引き続き「平成 16 年度の土砂災害」を、その規模と社会的重要性を考慮して、特別企画

の対象としました。今年度の災害は数次に涉り広範囲に及んでおりますので、発表者に関してはコーディネーターが調整させて頂きましますので、御了承願います。なお、テーマ別セッションでの発表可能件数は会場と時間の制約により限定されますが、一般口頭発表並びにポスターセッションにおきましても平成16年度の土砂災害に関する研究発表を歓迎しております。

企画テーマ：平成16年度の土砂災害について

コーディネーター：新潟大学積雪地域災害研究センター
丸井英明 教授

セッションの趣旨：

昨年に引き続き、平成16年も7月の梅雨前線による新潟・福島豪雨災害を始めとし、台風による数次に及ぶ四国の災害など甚大な土砂災害が発生しています。新潟豪雨においては、専ら破堤による洪水氾濫が目撃されましたが、斜面崩壊等の土砂災害も多数発生しております。また、四国の災害における雨量は著しく多量であり、個々の斜面崩壊、地すべり、土石流の規模が大きいために注目されます。本セッションでは、豪雨災害の実態について新潟、福井、徳島、愛媛、三重等の各地域における土砂災害の原因、機構、特徴に関して多角的な分析を試み、今後の同種の災害の防止・軽減に資することを模索します。

一般テーマ1：土砂管理のための水文

コーディネーター：京都大学大学院農学研究科
小杉賢一朗 助手

セッションの趣旨：

山地斜面における雨水の浸透・流出プロセスは、山腹崩壊・土石流による土砂生産現象と密接に関わっています。また山地溪流のハイドログラフは、渓床・河道堆積土砂の流動を解析するのに不可欠です。したがって、流域土砂管理のための土砂生産・流出予測において、山地小流域における水文プロセスの解明と適切なモデル化は非常に重要なものであります。近年の観測・実験により、局所的な鉛直浸透、パイプ流、基岩への浸透といった、不均質な流れや、Darcy 則とは機構の異なる流れの存在が明らかにされつつあります。また、タンクモデル(土壌雨量指数)、ブロック集合モデル、Richards 式に基づく飽和・不飽和浸透流解析など、種々の水文モデルの適用が試みられています。本セッションでは、これ等の研究成果に関して情報交換を行い、土砂生産・流出に関連した水文プロセスについて考えます。

一般テーマ2：砂防に関わる環境の把握と評価

コーディネーター：国土交通省国土技術政策総合研究所
小山内信智 砂防研究室長

セッションの趣旨：

砂防事業は荒廃した山地流域を安定化させ、土砂移動

現象による災害の防除・軽減を目的として、営々として続けられています。荒廃流域の安定化の過程において、流域や溪流周辺の環境は必然的に変化していくことになります。一方で、国民の環境に対する意識はますます強まり、かつ多様化するものと考えられます。そのため、環境がどのように変化するかを客観的に把握・評価することは、今後の砂防技術発展のひとつの方向性を規定する重要な事項といえます。本セッションでは、砂防事業の実施と環境変化との関わりについて、その実態把握と影響評価手法に関する研究の現状を踏まえ、総合的な環境の評価のあり方について考えます。

4．発表形式

発表形式は、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの3形式となります。

テーマ別セッション：概要集、OHP等を用いた口頭発表となります。発表時間は1時間程度(1題あたり10分から15分程度)で発表後30分程度の総合討論の時間を設定しております。

一般口頭発表：概要集、OHP等を用いて発表し、1題あたり15分(質疑応答を含む)の予定です。

ポスターセッション：1時間程度の発表時間(コアタイム)に幅1.7m、高さ2.0m程度のボードに提示したポスターの前で発表していただきます。なお、ポスターはこの時間外でも展示されています。

発表数の制限について：平成17年度研究発表会においては、出来る限り多くの会員の皆様に発表していただき、なおかつ質疑応答の時間を十分に確保することを目的として、一般テーマ別セッションは一人一件とし、一般口頭発表、ポスター発表(実際の発表者)はいずれかで一人一件とさせていただきます(同一の方が、一般口頭発表1件、ポスター発表1件とすることは出来ません)。

なお、一般テーマ別セッションでは各セッションの発表件数が4件から6件程度に限られていますので、発表申し込みをされても発表題目として採択されない場合があることをご了解下さい。その際は、一般口頭発表またはポスターセッションでの発表題目として受理いたします。

5．発表申し込み

次の①から⑥をハガキにて、平成17年1月21日(金)締め切り厳守)までに、下記まで送付してください。

送付先：〒464 8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院生命農学研究科 田中隆文

①研究発表題目

②発表内容を示すキーワード

③プログラムの参考にしたいので、下記分野から第1希望、第2希望を選んでお書き下さい。

一般テーマ別セッションのテーマ1~2, 土砂流出, 土石流, 雪崩, 水文, 環境砂防, 砂防構造物, 地震, 斜面崩壊, 緑化, 斜面安定, 地すべり, 警戒・避難, 火山砂防, 砂防計画, 砂防事業, 施工管理, 指定地管理, その他()

第1希望(), 第2希望()

④発表形式

- a. テーマ別セッション b. 一般口頭発表
c. ポスターセッション d. どちらでもよい

*いずれか希望の形式をお選び下さい。特に, a. のテーマ別セッションをご希望の方は, a. に加えてb. からd. までのいずれか希望の形式をご記入下さい。例)

a. またはb.

ただし, 全体の構成からご希望に添えない場合もあります。

⑤発表者と共同研究者の所属および氏名(連名の場合は

発表者の先頭に 印をつけて下さい)

⑥連絡先の住所, 氏名, 電話番号, FAX 番号, E-mail

(注) プログラム構成の関係上, 発表申し込みの期限を厳守してください。

6. 概要集掲載原稿の提出期限

平成17年4月1日(金)(締め切り厳守)

(注) 印刷の関係上, 提出期限以降は受け付けません。

(注) ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒464 8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院生命農学研究科
田中隆文
Tel: 052 789 5745
e-mail: takafumi@agr.nagoya-u.ac.jp

III. (社)砂防学会研究発表会概要集用原稿作成要領

ミスプリント防止のため, 原稿をそのまま縮写(95%)し, オフセット印刷により概要集を作成するので, 以下の諸点に留意のうえ鮮明な原稿を提出願います。

(1) 原稿書体

原稿は原則として, ワープロ打ちもしくはタイプライター打ちとする。

(2) 原稿用紙及び文字のサイズ

A4判用紙を用い, 図に示すように余白をとり, 横180mm, 縦257mmの範囲内に収まるように原稿を作成する。1行の文字数及び1ページの行数は自由とする。ただし, 文字のサイズは10ポイント(14級)以上とする。

(3) 原稿枚数

原稿枚数は2枚とする。1枚あるいは3枚以上は受け付けない。

(4) 題名及び氏名

題名は第1行目の中央に書き, 1行あけて所属, 発表者名(連名の場合は発表者の先頭に 印をつける)を右側に寄せて書く。題名は本文よりやや大きめに書く。1行あけて本文を書き始める。

(5) 使用する文字

使用する文字, 仮名遣いは, 原則として「常用漢字表」, 「現代仮名遣い」による。

(6) 改行

改行した場合の次の行は, 必ず1字あけて書き始める。

(7) 文字の割付

句読点, (), :, 引用記号及び1桁のアラビア数字には1ますをあて, アルファベット及び2桁以上のアラビア数字には2字で1ますあてる。

(8) 見出し番号

本文の章, 節等には次の記号を使用すること。

- 章 1, 2, 3
節 1.1, 1.2, 1.3
節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

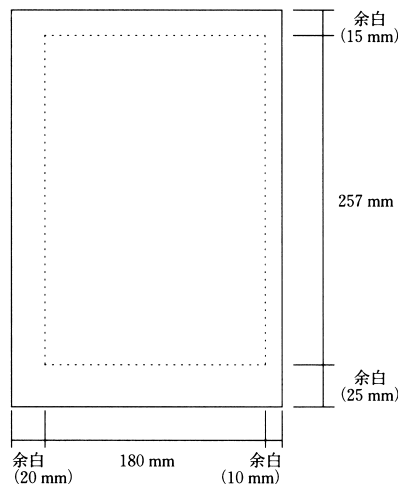
(9) 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後に挙げる。

(10) 図表

図表はすべてインキングし, 原則として本文の間の所

A4判用紙



原稿の基本フォーム

注) 上記の例を基本フォームとするが, プリンタの種類によっては上端と下端の余白の和が40mm程度, 左端と右端の余白の和が30mm程度であればよい。

定の位置に挿入する。別紙の図表を張り付ける場合は、セロテープを使用せず、所定の位置に全面のりづけする。この場合、図表等の左右の余白ができたときは、その部分にも本文を記入する。

(11) 写 真

写真を使用する場合は、ネガや印刷物の切抜きではなく、印画紙に焼き付けた原写真を所定の位置にのりづけする。

(12) 原稿の取り扱い

原稿のページ数及び表題を鉛筆で欄外に記入する、また、オフセット印刷をする都合上、原稿は、記入または送付にあたって折り曲げたり、汚したりしない。折り曲げ、または汚れがひどい場合は再提出をお願いすることがある。

平成 17 年度砂防学会ワークショップの公募

研究開発部会長 土屋 智

砂防学会では主宰者の自主的な考えでワークショップを運営していただき、砂防学の研究・技術開発に役立つ成果を期待しています。昨年度までに行われたワークショップにより砂防学に関する広範な分野での議論が深まり、特に若手研究者によるワークショップが活発になってきています。こうした背景を受けて、平成 17 年度ワークショップは「若手研究助成」による学会研究の活性化をはかりたいと思います。多くの方々の応募をお待ちしております。

1. ワークショップの種別

若手研究助成

「35 歳以下の若手研究者、院生、技術者（公務員、民間を問わない）」を対象にしたもので、期間は単年度です。ただし砂防学会会員に限ります。

2. 助成金の予定総額

総額 約 150 万円（1 件あたり 30 万円程度）

採択予定件数 4～5 件

3. 応募要領

1) 主宰者氏名・所属、研究協力者・所属

2) ワークショップテーマ

3) 具体的ワークショップの運営方法

・A4 1 枚程度

4) 予算計画

・具体的な予算執行計画が分かるように A4、半ページ程度

5) 応募締め切り：平成 17 年 3 月 18 日(金)必着

6) 応募・問合せ先

〒020 8550 盛岡市上田 3 18 8

岩手大学農学部

井良沢道也（研究開発部幹事）

TEL：019 621 6137

FAX：019 621 6137

E-mail：irasawa@iwate-u.ac.jp

7) 注意事項：採択されたワークショップの開催の公告、報告は必ず砂防学会誌上で行って下さい。また、以前に採択された課題、および類似する課題での応募には、前回までの成果、既往課題との内容の相違についても記述して下さい。